

令和6年度

肢体不自由教育部門

高等部

第1・2・3学年

④a 学習グループ

年間指導計画

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1・2・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	国語・数学(知)		学習グループ名	高④a	
目標・ねらい	(1)人との関わりの中で伝え合い、表現する力を養う。 (2)日常生活に関するものや数との関係に関心をもって関わる力を身に付ける。				
担当教職員 *学校介護職員	佐藤 やよい、石渡 ひかり、渡邊 沙綾、所 竜之介、高橋 大幸				
年間授業時数	280 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4 5 6 7	漢字 数量関係	4	○地域の地名(漢字)学習 ○数量(大小、多少、長短、高低など) ◆漢字(難易度は個人によって変更)を理解する。 ◆数量を理解する。		・繰り返し学習することで、学習の成果を定着させる。 ・集団授業と個別課題学習を両立させることで、グループ全体の学習効果を高める。 ・読書習慣を定着させることで、読み書きの力を高める。
9 10	文の構成 反対の言葉	4	○適切な助詞や述語を使った文づくり ◆正しい文章をつくらることができる。 ○身近な言葉の反対語を知る。 ◆反対の言葉		
11 12	時間 敬語	12	○1日の行動と時刻 ◆時計の読み取りや、一日の予定を立てることができる。 ○敬語でのロールプレイ ◆適切な場面で敬語を使用することができる		
1 2 3	会話 買い物学習	12	○相手を意識して、相づちやうなずきを行う。 ○相手とのやり取りで話を膨らませる。 ◆気持ちのよいコミュニケーションについて、理解を深める。 ○コミュニケーション学習 ○お金の計算 ◆買い物学習を通して、言葉や物、お金のやり取りを行う。		・友達を意識できるような言葉掛けをする。 ・コミュニケーション手段について事例を定時する。
通年	読書活動 個別課題	3	○読書や作者名の学習 ◆簡単なストーリーを理解する。 ◆タイトルや作者名などを知り、文学に触れる。 ○プリント学習(文字、漢字の書き取り、なぞり、文章づくり、読み聞かせ、音読、数の概念、数量、計算、時計、お金、他)タブレット端末を使った文字や数の学習 ◆各自の課題に沿って取り組む。		・繰り返し取り組むことで、読書活動を定着化させる。 ・プリントやタブレット端末を中心とした学習に取り組むことで、基礎学力を高める。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1・2・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	音楽(知)		学習グループ名	高④a	
目標・ねらい	(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現の技能を身に付ける。 (2) 音楽表現を創意工夫し、自分なりに評価しながら音楽を聴くことができるようにする。 (3) 音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を培う。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋 尚子、石渡 ひかり、渡邊 沙綾、所竜 之介、高橋 大幸				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	音楽オリエンテーション	2	○発声練習・歌唱・楽器演奏・鑑賞 ◆音楽の授業のルールを理解する。		・音楽の授業のルールを説明し、授業の流れを説明する。
5	歌唱・楽器・鑑賞 合奏しよう①	9	○発声練習・歌唱 ◆歌詞の内容をイメージしながら歌う。 ○楽器演奏 ◆決められたリズムで楽器を鳴らす。 ◆友達と演奏する楽しさ、達成感を味わう。		・譜面を使って、音の高低を視覚的に理解できるようにする。 ・手話や写真を用いて、歌詞の内容をイメージできるようにする。 ・ICT機器を活用して、自分の演奏を客観的に振り返るようにする。
6					
7	表現・鑑賞 みんなで歌おう①	9	○発声練習・歌唱 ◆歌詞の内容をイメージしながら歌う。		・手話や写真を用いて、歌詞の内容をイメージできるようにする。
9	歌唱・楽器・鑑賞 合奏しよう②		○楽器演奏 ◆音の響きを意識して、ハーモニーを味わう。 ◆指揮者の合図に合わせて、タイミング良く楽器を鳴らす。 ○鑑賞 ◆音楽を聴き、情景をイメージする。		
10					
11	楽器・身体表現・鑑賞 日本の伝統楽器	6	○楽器演奏 ◆決められたリズムで楽器を鳴らす。 ◆友達と演奏する楽しさ、達成感を味わう。 ◆日本の伝統音楽を知る。 ○鑑賞 ◆音楽を聴き、情景をイメージする。		・譜面を使って、音の高低を視覚的に理解できるようにする。 ・ICT機器を活用して、自分の演奏を客観的に振り返るようにする。
12					
1	歌唱・楽器 コンサートを開こう	6	○発表会 ◆歌・楽器演奏の学習の成果を発表する。 ◆発表順や会の進行を生徒主体で取り組む。		・ICT機器を活用して、自分の演奏を客観的に振り返るようにする。 ・生徒が主体的に活動できるよう、発表形態や役割を工夫する。
2					
3	歌唱・鑑賞 みんなで歌おう②	3	○発声練習・歌唱 ◆歌詞の内容をイメージしながら歌う。		・手話や写真を用いて、歌詞の内容をイメージできるようにする。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1・2・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	美術(知)		学習グループ名	高④a	
目標・ねらい	(1) 素材やテーマからイメージを膨らませて自分らしい作品をつくる。 (2) 鑑賞、制作を通して様々な表現に触れ、身近なものに興味・関心を向ける。 (3) 作品を作ることを見ることの楽しみを味わい、美術に親しむ心を育む。				
担当教職員 *学校介護職員	佐藤 やよい、石渡 ひかり、渡邊 沙綾、所 竜之介、高橋 大幸				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	モダンアート：にじみ絵、吹き流し、ストリング(引き絵)。	12	○色の3原色を水や風や紐の動きによって混色しながら描画する。 ◆様々な技法で混色を行い、色の変化や形の変化を味わい楽しむ。		・手の操作性に合わせた、用具を工夫する。
5					
6	版画：モノ版画 工芸：額縁の制作	12	○花を鉛筆でデッサンする。花が描けたら、アクリル絵の具で着色する。ボードに転写し額縁を制作する。 ◆一回限り(モノ)の版画の難しさや緊張感を味わいながら制作する。 ◆色や形を工夫しながら、自分が納得できる作品を何回も試作しながら完成させる喜びを味わう。		・手の操作性に合わせた、用具を工夫する。
7					
9	絵画：砂絵 陶芸：生活に役立つ器	16	○色砂を用いた描画。 ◆隣接する色との調和や全体の色調を意識しながら構図を考え出す力を付ける。 ○陶芸用の土で作陶する。 ◆生活に役立つ器をデザインし、デザインを表現するのにふさわしい技法で作陶する。		・色砂特有の表現方法を一緒に確認できる時間を設ける。
10					
11	絵画：生き物を描く(パチック等の技法を用いた描画)	12	○本やネットなどから描きたい生き物を選択する。 ○水彩や油絵具、アクリル絵、クレヨンなどを用いてパチックの技法を用いて生き物を表現する。 ◆選択した生物を表現する方法を模索し、効果的な技法を選んで描画する。		・作る作品についてタブレット端末を用い調べ学習をする時間を設ける。
12					
1	墨象：墨絵を描く	6	○墨の香り、和紙や色紙の色彩、紙粘土の形に注目して制作する。 ◆表現したいテーマに基づいて描画することができたか。		・作品を紹介し、墨絵に親しみをもてるようにする。
2	デジタルアート：写真をコラージュする	12	○タブレットに写真を取り込み、コラージュ作品を制作する。 ○タブレット端末を使って、写真の素材をコラージュして、Tシャツやエコバッグのデザインをする。 ◆アプリ操作を学習し、タブレット端末でオリジナルのデザインを生み出す。		・作る作品についてタブレット端末を用い調べ学習をする時間を設ける。
3					

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1・2・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	保健体育(知)		学習グループ名		高④a
目標・ねらい	(1) オリンピックやパラリンピックに関連付けながらスポーツや身体活動への意欲や関心を高めていく。 (2) 話し合いの場面では、自身の意見や考えを周りに伝えようとする事ができる。 (3) 身体活動の楽しさを実感させ生涯スポーツへの意識を高める。				
担当教職員 *学校介護職員	鎌形 翼、高橋 大幸、石渡 ひかり、渡邊 沙綾、所 竜之介				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	体づくり運動	4	○柔軟ストレッチ運動、ラジオ体操や選択した曲で競技に合った体操の創作を行う。 ◆身体の柔軟性について理解し、自分の身体の使い方を知る。		様々な動きのストレッチを行い、自身の体に関心を向けられるようにする。
5	陸上競技 体育祭種目練習	7	○陸上競技についての知識を深め興味や関心がある種目を選び、記録を計測する。体育祭に向けて競技のルールを理解したり周囲と協力して競技を行う。 ◆自己記録に挑戦したり、仲間と協力して競技に参加したりすることができる。		体育祭に向けての見通しがもてるように自身が出場する種目や日程の確認を行う。 自身の記録の変化が分かるようにする。
6					
7	水泳	5	○リラクゼーションや浮力を活用した活動を行う。 ◆浮力を生かした活動を通してリラクゼーションや健康の保持増進を図る。		安全に留意し、浮き具などを活用しながら行う。
8					
9					
10	球技「ボッチャ」	7	○投球方法やルールの確認、試合の中で実践的に戦略を立てる。 ◆自分が狙った場所にボールを打つことができる。		仲間と戦略を立てるように促す。試合終了後に得点や戦術について確認を行う。
11					
12	武道「柔道」	5	○道着の着衣、つかみ、寝技の体験を行う。 ◆伝統文化として武道の基本を体験を通じて理解する。		実際の試合を見たり使用する道具に触れたりして興味や関心がもてるようにする。
1					
2	球技「ハンドサッカー」	7	○ルールの理解や試合の中で実践的な動きを行う。チームで作戦を立てる。 ◆ルールを理解し、周囲と協同してプレーする。		チームで話し合う時間を設ける。試合では、フェアプレーやスポーツマンシップにのっとったプレーを意識させる。
3					

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1・2・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	外国語(知)		学習グループ名	高④a	
目標・ねらい	(1)「聞く・話す」を中心に、「読む・書く」活動も取り入れ、簡単な語彙及び発音を身に付ける。 (2) 定形文をはじめ長期にわたり繰り返し練習し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。 (3) 外国語や異文化への関心や理解を深め、日本語と外国語の違いを知る。				
担当教職員 *学校介護職員	石渡 ひかり、渡邊 沙綾、所 竜之介、高橋 大幸				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	日常生活に身近な単語や表現を知る①	2	○日付・天気・数字の表現/自己紹介/挨拶 ▲日常生活でもよく聞かれる表現に実際に触れる。		日付・天気・挨拶は年間を通して繰り返すことで定着を図る。
5		3	○食べ物や季節などの単語・表現 ▲興味のあるものを英語で表現する。		生徒の興味のあるものを引き出す。
6		3	○体の部位や体調を表す単語・表現 ▲実際にあるものを英語で表現する。		単語と実物を一致させるようにする。
7		2	○スポーツに関する単語・表現/1学期の復習 ▲生徒にとって身近なものを英語で表現する。		オリンピック・パラリンピックと関連させ、興味を引き出す。
9	日常生活に身近な単語や表現を知る②	3	○定型文を使用したロールプレイ(好きなこと) ▲自分のことを英語で表現する(be動詞の文ほか)		生徒の好きなものを取り上げ、伝える活動で積極的なコミュニケーションを図る。
10		4	○買い物での表現 ▲日常生活に関わる単語や表現を理解する。		ロールプレイを行い、実際の買い物場面に近づける。
11		4	○道案内の表現 ▲方向についての表現を身に付けるとともに、対話を行う。		図表・地図を用いて、現在地と目的地の位置関係を明確にする。
12		2	○各国のクリスマスや年末年始の過ごし方 ▲日本と外国の文化の違いを知る。		画像や映像を適宜使用し、異文化についてイメージしやすくさせる。
1	日常生活に身近な単語や表現を知る③	2	○好きな動物を説明する(特徴を伝える) ▲特徴を示す表現(色、大きさなど)を身に付ける。		どうすれば相手に伝わりやすいか、特徴を挙げるなどして考える。
2		3	○探し物を伝えたり、説明したりする表現 ▲相手の返答に合わせた反応や表現を行う。		文章固定のロールプレイをはじめとし、徐々に自由返答箇所を増やす。
3		2	○1年間の復習 ▲日常生活に関わる表現・単語を身に付ける。		1年間で行った学習について、対話中心に復習を行う。
通年	ALTとの英会話	5	挨拶・自己紹介・季節やニュースに関する質疑応答 積極的にコミュニケーションを取り、異文化理解を図る。		質疑応答・アクティビティを中心に行う。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	キャリア基礎II		学習グループ名		高④a
目標・ねらい	(1) 係活動の行い方を学ぶ。 (2) 自分の仕事に責任をもち、計画的に取り組む。 (3) 自分の好きなことや得意なことを生かして活動する。				
担当教職員 *学校介護職員	石渡 ひかり、渡邊 沙綾、所 竜之介、高橋 大幸				
年間授業時数	105 単位時間				
使用教科書	122.5				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	個別の活動 係活動 余暇活動	122.5	○係活動 ・給食のメニュー記入 ・必要物品の補充 ・健康観察表の記入と提出 ・プリントを取りに行く ・動植物の世話 ・食札の消毒 ○学校行事に関する制作 ・体育祭や応援団の活動 ・校外学習の準備 ・墨東祭の準備 ・卒業式の装飾の準備 ○個別の課題 ・プリント学習 ・体調調整 ◆自分の役割を果たすことができる。(知識・技能・表現) ◆取り組み方を自分がやりやすいように工夫しながら取り組むことができる。(思考・判断・表現) ◆やる気をもって取り組むことができる。(主体的に学習に取り組む態度)		・主体性を大切にし、支援方法に配慮して見守る。 ・健康観察を行い、その日の体調、身体の状態に合わせた取り組みを行い、無理をしないようにする。 ・友達が欠席した際には、全員で協力して係に取り組めるように促す。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	総合的な探求の時間		学習グループ名	高④a	
目標・ねらい	(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行う。 (2) 繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもつ。様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばす。 (3) コミュニケーション・スキルや地域での暮らし方について学ぶ。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋 奈穂美、平井 帆香、佐藤 やよい、所 竜之介、石田 有香、鎌形 翼、椿 早百合、齊藤 尚寛 *宇都宮 雅彦、*比嘉 郁、*永池 秀行、*西久保 千枝子				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	高等部を知ろう	3	○高等部の1年間の活動に見通しをもって考え、学年目標や係を決める。 ◆高校部の生活を知り、学年目標や係活動を定める。		・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
5	学期の行事の確認 体育祭事前事後学習	7	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○体育祭の種目を知り、友達と発表し合う。 ○体育祭で身に付けた得意技を披露する。 ◆体育祭を通して、友達と協力する力を養う。		
6					
7	学期のまとめ	2	○各活動の写真や動画を見て1学期を振り返る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる。		
9	学期の行事確認 墨東祭事前学習 移動教室事前事後学習	11	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○場所の写真やスライドを見て、行く場所(地域)について考える。 ◆移動教室に行く場所を知り、地域について考え、できる活動を行う。 ○移動教室の事前学習で行ったことを活かして墨東祭準備を行う。 ◆先生や友達と協力して活動する。		・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
10					
11					
12	墨東祭事後学習 学期のまとめ	3	○各活動の写真や動画を見て1学期を振り返る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる。		
1	進路学習	3	○墨の香りを感じながら、書初めを行う。 ◆日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける。		・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
2	主権者教育	3	○模擬選挙を行い、仕組みを学ぶ。 ◆選挙を通して社会を知る。		
3	進路について	3	○ICT機器などを使って進路について調べる。 ◆卒業後の進路について考える。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	総合的な探求の時間		学習グループ名	高④a	
目標・ねらい	(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行う。 (2) 行事の事前学習を通して自分の意見課題を見付け、課題解決に向けて生徒同士で関わる経験を重ねる。 (3) 進路学習を通して課題を見付け、自己の在り方や生き方を考える。				
担当教職員 *学校介護職員	杉浦 春久、志賀 拓也、長峰 亜矢子、石渡 ひかり、渡邊 沙綾、小畑 圭輝、西坂 千恵美、張替 良太 芳賀 正次*、古谷 誠人*				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	高等部2学年の生活について	3	○高等部の1年間の活動に見通しもって考え、学年目標や係を決める。 ◆高校部2学年の生活を知り、学年目標や係活動を定める。		・写真やスライドなどの視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 ・実態に合わせた補助具や教材を用いることで、活動の中で成功体験を多く積めるようにする。 ・グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。
5	学期の行事の確認 体育祭事前事後学習	7	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○体育祭の応援の練習や、出場種目を披露する。 ◆体育祭を通して、友達と協力する力を養う。		
6					
7	宿泊行事に向けて	2	○場所の写真やスライドを見て、行く場所について考える。 ◆移動教室に行く場所を知り、地域について考え、できる活動を考える。		
9	修学旅行に向けて	7	○班ごとにテーマを決めて活動をする。 ◆修学旅行で行く場所を知り、地域について考え、できる活動を行う。		
10					
11	墨東祭事前学習	4	○修学旅行の事前学習で行ったことを生かして墨東祭準備を行う。 ◆先生や友達と協力して活動する。		
12	修学旅行 墨東祭事後学習	3	○調べ、発表したそれぞれのテーマを振り返る。 ◆移動教室・墨東祭の学習を振り返る。		
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行い、仕組みを学ぶ。 ◆選挙を通して社会を知る。		・写真やスライドなどの視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 ・実態に合わせた補助具や教材を用いることで、活動の中で成功体験を多く積めるようにする。 ・グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。
2	進路学習	3	○興味ある職業についてICT機器を使って調べる。 ◆卒業後の進路について考える。		
3	1年間のまとめ 進級するにあたって	3	○1年間で学んだことをまとめる。 ◆まとめたことを発表し合い、認め合う。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	総合的な探究の時間		学習グループ名	高④a	
目標・ねらい	(1) 体験活動を通して、課題解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、学習のよさを理解する。 (2) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行う。 (3) 様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばす。				
担当教職員 *学校介護職員	郭 雅文、高橋 尚子、高橋 大幸 *高野 悦子、*島垣 悠斗				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	オリエンテーション 新入生と仲良くなるう 体育祭事前学習	6	○他学年の仲間を訪問し意識する。 ◆1年間の授業の見直しをもつ。		・視覚・聴覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 ・実態に合わせた補助具や教材を用いることで、活動の中で成功体験を多く積めるようにする。 ・学習グループ教室以外での活動も行う。
5			○体育祭の種目を知り、友達と発表し合う。		
6	学期の行事の確認	4	○学期の学習内容について知り、学校生活に見直しをもつ。		・動画や画像、スライドなど、視覚や聴覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。
7	体育祭を振り返ろう 学期のまとめ	2	○体育祭で身に付けた得意技を披露する。 ○各活動の写真や動画を見る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる。		・体育祭などの学校行事のまとめを友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。
9	学期の行事確認 墨東祭に向けて	3	○行事を確認し、友達と発表し合う。 ○墨東祭の練習。 ◆先生や友達と協力して活動する。 ◆各活動の写真や動画を見ることができる。		・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見直しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
10					
11					
12	実習事前事後学習	9	○ICT機器などを使って進路先について調べる。 ◆卒業後の進路について考える。		・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
1	季節の活動	4	○新年の気持ちをもち、目標を立てる。 ○墨の香りを感じながら、書初めを行う。 ○豆まき ◆日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける。		・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見直しをもてるようにする。
2					
3	1年のまとめ	7	○ICT機器などを使って1年のまとめを行う。 ◆各活動の写真や動画を見る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる		・1年間のまとめを友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	特別活動		学習グループ名		高④a
目標・ねらい	(1) 写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 (2) 全員が意欲的に参加できるように、道具や活動のルールを工夫する。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋 奈穂美、平井 帆香、佐藤 やよい、所 竜之介、石田 有香、鎌形 翼、椿 早百合、齊藤 尚寛 *宇都宮 雅彦、*比嘉 郁、*永池 秀行、*西久保 千枝子				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	高等部の生活について	3	○自己紹介、一年間の予定確認、学年目標決め、係活動決めなど。 ◆高等部の一年間の生活を知る。		一年間の流れを知り、見通しをもてるようにする。
5	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		意図的にチームを組み、生徒同士のやり取りが生まれるようにする。
6	体育祭に向けて	4	○体育祭の競技や応援練習など。 ◆体育祭に向けて期待を高める。		応援グッズを作成し、練習の段階から本番の雰囲気味わえるようにする。
7	移動教室事前・事後学習	10	○係ごとに事前・事後学習を行う。 ○内容に関する話し合い、準備、練習など。 ◆行事への期待感を高め、協力して一つのものを作り上げる。		パンフレット、しおり等を活用し、見通しがもてるようにする。
9					係ごとに事前学習や調べ学習を行い、理解を深めていく。
10					写真や映像などを活用して、具体的に振り返れるようにする。
11	墨東祭に向けて	3	○全体練習、発表内容についての話し合い・分担など。 ◆役割をもって、仲間と協力する。		自分の役割を意識できるように、準備の係活動を設定する。
12	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		意図的にチームを組み、生徒同士のやり取りが生まれるようにする。
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行う。 ◆生徒会選挙を通して選挙を知る。		写真や演説の音声を利用して、「選ぶ」「投票する」ことを主体的に行えるようにする。
2	伝統文化に触れよう	3	○調べ学習を行う。 ◆日本独自の伝統技術を体験する。		教材だけでなく、衣装や背景を活用し、伝統文化の雰囲気を感じられるようにする。
3	1年間のまとめ	3	○1年間の学校生活を振り返る。 ◆スライドなどを見て一年間を振り返る。		写真や映像などを活用して、具体的に振り返れるようにする。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	特別活動		学習グループ名	高④a	
目標・ねらい	(1) 行事や一年間の流れに見通しをもち活動する。 (2) 学年の友達との様々な経験を通して学年集団の親睦と団結を図る。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。				
担当教職員 *学校介護職員	杉浦 春久、志賀 拓也、長峰 亜矢子、石渡 ひかり、渡邊 沙綾、小畑 圭輝、西坂 千恵美、張替 良太 芳賀 正次*、古谷 誠人*				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	高等部2学年の生活について 新入生歓迎会	3	○高2の一年間の予定確認、学年目標決め、係活動決めなど。 ◆高等部2学年の一年間の生活を知る。 ○新入生歓迎会のメッセージや出し物を考え練習する ◆新入生を迎える準備をし、上級生としての意識をもつ		・写真や資料等を使って分かりやすく提示する。 ・全員が意欲的に参加できるよう配慮する。 ・文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。
5	レクリエーション 社会見学事前学習	3	○社会見学のしおり作りや画像行く場所の確認 ◆社会見学についての意識を高める。		
6	体育祭に向けて	4	○体育祭の競技や応援練習など。 ◆体育祭に向けて期待を高める。		
7	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		・写真や資料等を使って分かりやすく提示する。 ・全員が意欲的に参加できるよう配慮する。 ・文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。
9	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		
10	修学旅行事前学習	4	○調べ学習やしおりの印刷・製本をする ○当日の行動予定を立てる。 ◆宿泊行事への期待感を高め、活動について見通しをもつ。		
11	墨東祭に向けて	3	○発表内容についての話し合い・役割決め、練習を行う。 ◆役割をもって、仲間と協力して行事を成功させる。		
12	墨東祭事後学習	3	○舞台発表を映像で振り返る ◆それぞれの発表について評価、反省をする。		・写真や資料等を使って分かりやすく提示する。 ・全員が意欲的に参加できるよう配慮する。 ・文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行う。 ◆生徒会選挙を通して選挙を知る。		
2	伝統文化に触れよう	3	○調べ学習を行う。 ◆日本独自の伝統技術を体験する。		
3	1年間のまとめ	3	○1年間の学校生活を振り返る。 ◆スライドなどを見て一年間を振り返る。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	特別活動		学習グループ名	高④a	
目標・ねらい	(1) 行事や一年間の流れに見通しをもち活動する。 (2) 学年の友達や教職員とコミュニケーションの充実を図る。 (3) 学校生活での様々な体験を卒業後の生活につなげる。				
担当教職員 *学校介護職員	郭 雅文、高橋 尚子、高橋 大幸 *高野 悦子、*島垣 悠斗				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	学年活動の予定を知る	3	○学年活動についての予定確認 ◆学校生活に見通しをもつ。		写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。
5	体育祭に向けて	8	○体育祭の競技や応援練習 ◆体育祭に向けて期待を高める。		全員が楽しんで参加できるように、道具や活動のルールを工夫する。
6					
7	交流学習に向けて	2	○事前・事後学習 ◆外部との交流を通して新しい世界や社会のマナールールを学ぶ。		写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。
9	墨東祭に向けて	11	○内容に関する話し合い、準備、練習など ◆行事への期待感を高め、協力して一つのものを作り上げる。		写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 学習の成果を発表できるよう道具やICT機器を活用する。
10					
11					
12	卒業制作	3	○制作活動 ◆卒業の記念になるものを作る。		写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。
1	卒業遠足に向けて	3	○事前・事後学習 しおり作り ◆行事への期待感を高める。		写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。
2	卒業に向けて	5	○振り返りやまとめ、卒業式練習 ◆学校生活を振り返る。 ◆卒業に向けて意識を高める。		写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。
3					

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1・2・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	自立活動		学習グループ名		高④a
目標・ねらい	(1) 運動・動作の維持と改善や、関節の拘縮や変形を予防、筋力の維持・強化をする方法を知る。 (2) 自分の身体の健康状態を知り、健康を管理できるようになる。 (3) 心身ともにリラックスする。				
担当教職員 *学校介護職員	石渡ひかり、高橋大幸、所竜之介、渡邊沙綾				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	身体を取り組みを中心とした 自立活動6区分 <健康の保持> <心理的安定> <身体の動き> <人間関係の形成> <環境の把握> <コミュニケーション>	70	○歩行練習 ・車いすの手漕ぎ ・手つなぎ歩行 ・スロープ歩行 ・階段の昇降 ・ウォーカー歩行 など ○筋肉トレーニング ・背筋 ・膝立ち ・腕支持 ・よつばい ・立位 など ◆基礎的な体力を付けたり、体幹の筋力を付ける。(知識・技能) ○ストレッチ ・上肢 ・下肢 ◆様々な身体の動かし方を体験し、力を抜いてリラックス方法を学ぶ。(主体的に学習に取り組む態度) ○コミュニケーション ・ひらがなボード ・サイン、絵カード ・視線入力 ・手話 など ◆自ら気持ちや感じたことを表情や言葉で伝えることができる。場面に合ったやり取りができる。(思考・判断・表現) ○歩行や車いすの操作練習 ○操作性の教材 ・ビーズ ・スイッチ ・ひも通し ・ブロック ◆手指の操作性の向上させ、正確にものを操作する力を身に付ける。(知識・技能)		・その日の健康状態、心理状態を把握し、メニュー決定のアドバイスをする。 ・自立活動部教員との連携を図り、外部専門家のアドバイスを取り入れる。 ・自分の身体への意識を高め、自ら目的をもって活動できるような言葉掛けを行う。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1・2・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	日常生活の指導		学習グループ名		高④a
目標・ねらい	(1)日常生活上を営む上で必要な身辺処理の力を高めていく。 (2)必要に応じて、自分なりに工夫する態度や気持ち、習慣を養う。 (3)自分でできることを増やし、自己肯定感や自尊感情を育む。				
担当教職員 *学校介護職員	石渡ひかり、渡邊沙綾、所竜之介、高橋大幸				
年間授業時数	122.5 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	身支度 整理整頓 体調把握 給食 片付け 排せつ 係活動	122.5	○荷物整理。 ◆身の回りの必要な準備を自分から伝える。(主体的に学習に取り組む態度) ○体温計による測定。 ◆自分の健康状態を把握する。(思考・判断・表現) ○食事準備、食事マナー、片付け方、歯磨きについての学習。 ◆給食が安全に、適切なマナーで食べることができる。(知識・技能) ○係活動。 ◆役割をもち、責任をもって最後まで取り組むことができる。(主体的に学習に取り組む態度) ○相手に伝える場面を学ぶ。必要に応じて依頼をする。 ◆報告・連絡・相談ができるようになる。(思考・判断・表現)		・自分でできることを増やし、自己肯定感や自尊感情を育む。 ・指導者は必要な事項を習得させた後は、できるかぎり見守りに徹し、本人から申し出があったときに手伝うよう留意する。 ・体調に応じて、自ら水分補給・排せつ・床に降りる等のペース配分ができているかを常時見守り、適切なタイミングで言葉掛けを行う。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1・2・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	作業学習		学習グループ名	高④a	
目標・ねらい	(1) ビジネスマナーや報告・連絡など、活動内でのルールを理解することができる。 (2) 担当した仕事に対して、責任をもって取り組む力を育てる。 (3) 活動や取り組みに達成感ややりがいを感じながら取り組む。				
担当教職員 *学校介護職員	石渡 ひかり、渡邊 沙綾、所 竜之介、高橋 大幸				
年間授業時数	140 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	クリーンサービス活動 (校内清掃・ヘルメット拭き) 職場見学	70	○クリーニングの基本的な心構え報告 ◆仕事を覚える。(知識・技能) ○各作業工程の理解・用具の名称や使い方の理解 ◆作業工程を理解する。(思考・判断・表現) ○報告・連絡 ◆仕事が終わったときには報告や連絡ができる。(思考・判断・表現) ○実際に働いている人の様子や職場の見学をする。 ◆働くことについて考える。(主体的に学習に取り組む態度)		・一生懸命仕事をすることで、人に喜ばれたり、褒められたりすることを伝えていく。 ・仕事時間や休憩時間を提示して、見通しがもてるようにする。 ・報告、連絡する手本を示したり、回数を数えたりしながら定着できるようにする。 ・体験的学習を取り入れることで想像しやすくする。
5					
6					
7					
9					
10	ものづくり、もてなし (クリアファイル作り、石鹸作り、調理によるもてなし) 職場見学	70	○ものづくり・もてなしの基本的な心構え報告 ◆仕事を覚える。(知識・技能) ○各作業工程の理解・用具の名称や使い方の理解 ◆作業工程を理解する。(思考・判断・表現) ○受注・納品 ◆受注どおりに仕事を行う。(思考・判断・表現) ○報告・連絡 ◆仕事が終わったときには報告や連絡ができる。(思考・判断・表現) ○実際に働いている人の様子や職場の見学をする。 ◆働くことについて考える。(主体的に学習に取り組む態度)		・一生懸命仕事をすることで、人に喜ばれたり、褒められたりすることを伝えていく。 ・仕事時間や休憩時間を提示して、見通しがもてるようにする。 ・報告、連絡する手本を示したり、回数を数えたりしながら定着できるようにする。 ・体験的学習を取り入れることで想像しやすくする。
11					
12					
1					
2					
3					
通年	ビジネスマナー		○挨拶、時間、身だしなみ、他 ◆ビジネスマナーについて意識できるようにする。		繰返し学習することで身に付けやすくする。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1・2・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	生活単元学習		学習グループ名	高4 a	
目標・ねらい	(1) 時間割表や行事予定表などの掲示物の作成を通して、学校生活に見通しをもつ。 (2) 作物の栽培や制作活動を通して、ものづくりへの関心や意欲を高める。 (3) 行事学習や季節の単元学習を通して、生活経験の拡充を図る。				
担当教職員 *学校介護職員	所 竜之介、石渡 ひかり、渡邊 沙綾、高橋 大幸				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4 5 6 7	新年度を迎えて 野菜や花の栽培① 体育祭に向けて	26	○時間割づくり ○一学期の目標決め ◆掲示物の作成や目標決めを通して、学校生活に見通しをもつ。 ○夏の野菜、草花の種類について学ぶ ○土づくり、苗植え、観察、育成 ○収穫 ◆栽培活動への関心を高める。 ○体育祭の目標決め、体育祭の競技練習 ◆体育祭に向けて意欲を高める。		・スライドショーで画像などを見ながら説明することで、見通しをもって活動に臨めるようにする。 ・タブレットを活用して、植物について調べたり、記録をしたりする。 ・目標を決めて取り組むことで、体育祭当日への期待感を高める。
9 10 11 12	ものづくり 野菜や花の栽培② 墨東祭	26	○材料加工など ○工具、道具の利用 ◆工具、道具を利用して、ものづくりへの関心を高める。 ○冬の野菜、草花の種類について学ぶ ○土づくり、苗植え、観察、育成 ○収穫 ◆栽培活動への関心を高める。 ○事前学習、作品展示準備 ◆墨東祭へに意識を高める。		・作業学習とも関連付けを行う。余暇、趣味の中でのものづくりという観点を生徒に与える。 ・タブレット端末を活用して、植物について調べたり、記録をしたりする。 ・昨年度の写真や動画から墨東祭への見通しをもてるようにする。
1 2 3	日本の文化に触れよう 入浴について	18	○昔の正月遊びを体験する ○書き初めを体験する ◆書き初めや正月遊びを通して、日本の伝統を体験する。 ○衛生面、健康面など入浴の役割を学ぶ ○入浴剤づくり ◆入浴の必要性に気付き、入浴を身近なものとして親しみをもつ。		・日本の伝統的な正月の過ごし方に触れることで、日本文化に親しむ。 ・入浴剤づくりでは、タブレット端末で作成手順を確認しながら取り組む。
通年	ALTとの英語学習 季節の学習		○簡単な会話表現、英単語の学習 ○日本の四季に親しむ ◆コミュニケーションを積極的に取る。 ◆四季を通して日本の文化に触れる。		・機会に応じて適宜指導する。